

ピットホール®発生を防ぎ、正しく吸入できるためのチェックリスト

ブリーズヘラー（カプセル、シープリ、カプティQ、アキウス、Iザア）

吸入前	①薬剤の準備	<input type="checkbox"/> アルミシートから、1カプセルずつ正しく取り出せている <input type="checkbox"/> アルミシートをハサミなどで切っていない <input type="checkbox"/> カプセルを誤って内服したことはない <input type="checkbox"/> 薬剤セット時には、デバイスは垂直に保持する <input type="checkbox"/> 前回の吸い残しカプセルを残していない <input type="checkbox"/> カプセルを正しく装填している <input type="checkbox"/> マウスピースをしっかりと閉めている <input type="checkbox"/> ボタンをカプセルに穴が開く程度十分に押している（1回のみ） <input type="checkbox"/> ボタンは両側とも押している（片側ボタンのみを押していない） <input type="checkbox"/> ボタンを何回も押していない（数回行くと、カプセル破損の可能性あり）	★1 ★4
	②息吐き	<input type="checkbox"/> 吸入前に、苦しくならない程度に息を吐きだしている	
吸入時	③吸入	<input type="checkbox"/> ボタンを押したままで、吸入をしていない <input type="checkbox"/> 吸入直前に、マウスピース（吸入口）に息を吹きかけていない <input type="checkbox"/> マウスピース（吸入口）に口をあてる前から吸い始めていない <input type="checkbox"/> カプセルのカラカラ音が聞こえる程度の速さで、深く吸入している <input type="checkbox"/> マウスピース（吸入口）に口をあてたまま、息を吸ったり吐いたりしていない <input type="checkbox"/> デバイスを水平に保って吸入している <input type="checkbox"/> 吸入時に、口角が空いたままになっていない	★5 ★6
	④息止め	<input type="checkbox"/> 吸入直後は、口を閉じて5秒程度の息止めが出来ている	★7
	⑤息吐き		
吸入後	⑥後片付け	<input type="checkbox"/> 吸入後のカプセル内に、薬が残っていないことを確認している <input type="checkbox"/> 吸入後のカプセルは、手指を触れずに捨てている	
	⑦うがい	<input type="checkbox"/> 吸入後に、しっかりとうがいをしている	★8

8つの原則

- ★1 デバイスの保持・・・ デバイスを保持する手を決めて、筒型DP I 製剤は薬剤装填時に垂直に保持する。
- ★2 カウンターを確認・・・ カウンターがあるときは、指差し確認する。
- ★3 通気口を確認・・・ 通気口の位置を確認し、手指や口唇で無意識にふさがない。
- ★4 薬剤装填操作・・・ ボタン、レバー、フタは最後まで操作を完了させて、その後、操作した手指を離す。
- ★5 吸い方・・・・・・・・ DP I 製剤の場合、自分が性能の良い掃除機になることをイメージして強く深く吸入する。「強く深く」で統一します。
- ★6 □ 角・・・・・・・・ 吸入時に口角が開いていないようにする。
- ★7 息止め・・・・・・・・ 息止めは片手で指折り5つを目安に数秒程度。
- ★8 うがい・・・・・・・・ うがいをする

（一社）吸入療法アカデミーホームページ、患者吸入指導テキスト（協和企画）より引用